



TITLE:

ムツサンゴ広島湾周辺海域(瀬戸内海)に産す

AUTHOR(S):

鳥越, 兼治; 久保田, 信; 小川, 数也

CITATION:

鳥越, 兼治 ...[et al]. ムツサンゴ広島湾周辺海域(瀬戸内海)に産す. 南紀生物 2002, 44(1): 53-53

ISSUE DATE:

2002-06

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/188287>

RIGHT:

© 南紀生物同好会

ムツサング広島湾周辺海域（瀬戸内海）に産す

鳥越 兼治*・久保田 信**・小川 数也***

Kenji TORIGOE, Shin KUBOTA and Kazunari OGAWA: Occurrence of a stony coral *Rhizopsammia minuta mutsuensis* YABE and EGUCHI, 1932 in Hiroshima Bay and its adjacent waters, the Seto Inland Sea

イシサンゴ目キサンゴ科に属する日本特産のムツサング *Rhizopsammia minuta mutsuensis* YABE and EGUCHI, 1932 は、本来寒流系のイシサンゴ類として知られてきた (YABE & EGUCHI, 1932)。しかし、近年報告が増し (矢島, 1986)、さらに瀬戸内海でその分布が確認され、大阪湾や岡山県牛窓産の群体が報告されている (小川・佐名川, 1997; 小川・太田, 2000)。鳥越は数年前から瀬戸内海のはば中央部の北側にある広島湾において、本種らしき群体の生息を確認していたが、ごく最近発見した竹原産の群体をも含めて、最終的な同定ができたので、ここに新産地 5 地点を報告する。

1997年、広島湾北部の入道鼻において、水深 2 m (大潮最干潮時) で露出する岩上に本種の群生が初めて発見された。次いで、1998年、広島県海老渡の鹿島大橋の橋脚で群生が発見され (図 1)、続いて 2001 年に同県深江釣附海岸でも遭遇し、さらに竹原市での生息も確認された。今後、瀬戸内海でどれほどの分布の広がりがあるのか、特に四国沿岸への分布および深度分布などの解明が待たれる。

ムツサングの瀬戸内海での新産地

下記のように、2001年 8 月に至るまでの過去 5 年間に中国側の広島県沿岸の 5 地点、特に広島湾の諸地点から、いずれも夏季に水温が上昇する表層に生息する本種の群体が確認された。今後、さらに分布地点が増加するものと期待される。

佐伯郡沖美町入道鼻 1997年10月
安芸郡倉橋町鹿島大橋橋脚 1999年 9 月 (図 1)
佐伯郡大柿町長島 2000年 5 月
佐伯郡大柿町深江釣附 2001年 1 月
竹原市市場 2001年 8 月

謝 辞

本種の生息情報を寄せて頂いた久家光雄氏と浜村陽一氏に感謝する。

引 用 文 献

- 小川数也・佐名川洋之. 1997: ムツサング大阪湾に産す. 南紀生物, 39(1), 52.
———・太田日出明. 2000: ムツサング牛窓に産す. 南紀生物, 42(1), 32.
YABE, H. & M. EGUCHI. 1932: Report of the biological survey of Mutsu Bay. 23. *Rhizopsammia minuta* Van der HORST var. *mutsuensis* nov., an eupsammid coral. Sci. Rep. Tohoku Imp. Univ., Ser. 4, 7, 207-209, pl. 1.
矢島孝昭. 1986: ムツサングの生態分布. 南紀生物, 28(1), 37-40.

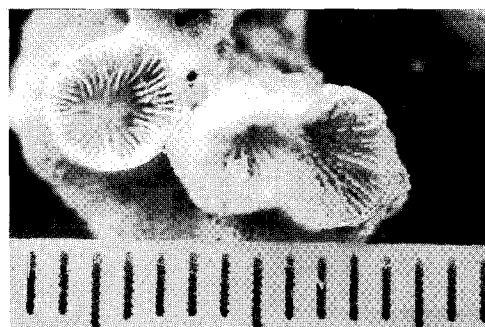


図 1 瀬戸内海広島湾（倉橋町鹿島大橋橋脚付着）から初記録のムツサング。触手環外分裂を示す個虫。

Fig. 1. First finding of a stony coral *Rhizopsammia minuta mutsuensis* in Hiroshima Bay, the Seto Inland Sea, attaching to pier of Kashima-Ohashi bridge in Kurahashi town, Hiroshima Prefecture, Japan. One corallum shows an extratentacular budding.

* 広島大学大学院教育学研究科自然システム教育学 (〒739-8524 東広島市鏡山1-1-1)
Graduate School of Education, Hiroshima University, Kagamiyama 1-1-1, Higashihiroshima 739-8524, Japan
** 京都大学大学院理学研究科附属瀬戸臨海実験所 (〒649-2211 和歌山県西牟婁郡白浜町)
Seto Marine Biological Laboratory, Graduate School of Science, Kyoto University, Shirahama, Nishimuro, Wakayama 649-2211, Japan
*** 〒166-0003 東京都杉並区高円寺南2-53-11 中井研究室
Z. Nakai Laboratory, Kouenji-minami 2-53-11, Suginami-ku, Tokyo 166-0003, Japan